



# 北会津こどもの村 あんないず

## もみの木ホール (ランチルーム)

独立したランチルームを設けることで、保育室での活動スペースを有効活用する。薪ストーブを囲みながら食事を楽しめる。

## キッチンスタジオ (オープンキッチン・調理室)

イベント時などに利用できるアイランド型キッチンを設置。調理室には開口部を設け、安全安心な食事をアピール。子供は調理風景を直接見ることが出来る。

## やまびこホール (コリドール)

どの部屋に行くにも通る、皆が顔を合わせる空間で、格子の天井が印象的。カーブした壁面にニッチを設け、チョッと腰掛しておしゃべりや絵本が読める設定。

## めどキッズランド (子育て支援室)

専用の出入口や中庭を設け、子育て支援だけの独立した使用も可能だが、コリドール側を開放した一体的な使い方も出来る。

## エントランス (正面入口)

おじいちゃん家に来たような安心感を感じる格子の引戸。壁面には地元会津の古民家から再利用した古材をアクセントに配置した。

ぼくち  
こうち



小さなおうち(=保育室)が、ゆうぎ室を真ん中にして並んでいるよ!

わたしの  
おうち  
あっち



【囲み形プランについて】

・こどもの村のプランは、幼保園の良さを生かす為、0~5歳の全てのこどもが一つの屋根の下で成長していく事を大切にしています。廊下に保育室が並ぶ形式では無く、磐梯山を臨む遊戯室を0~5歳の保育室が囲み1年ごとに成長を実感しながら、となりの家へ引越してゆきます。成長の差が大きい2歳以下と3歳以上は安全上往来出来ない様にしていますが、ガラス越しに互いの様子をお互いに見ながら空気を共有できるのです。

## 保育室 (5~3さい・2~0さい)

5~3歳と2~0歳の子供たちは、互いを意識しながらそれぞれの年齢に合った遊びが出来る。大きい子たちの遊戯室にはボルダリングウォールを取り付けた。

## マウンテンホール (遊戯室吹抜・ステージ)

会津のシンボル磐梯山を眺められる大きな窓とステージを設置。室内遊びの時のひのびできるよう、天井には吹き抜けを設けた。

## えほんの部屋 (図書室)

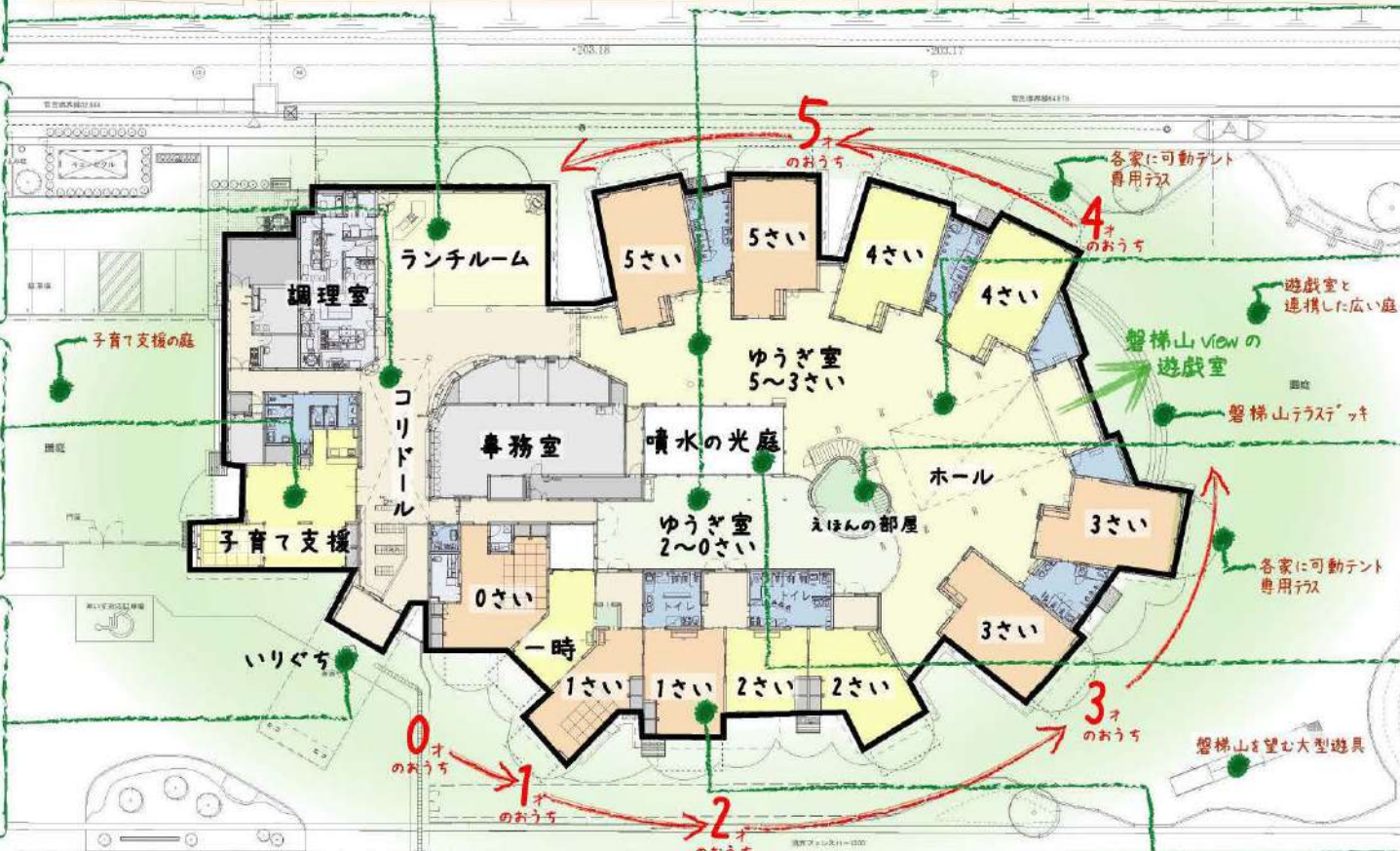
いろいろな年齢の子供が絵本を介して交流できる部屋。壁で囲われた空間で、落ち着いて読書をする習慣を付ける。

## ぼくのわたしの おうち (保育室・一時預かり)

年齢が上がることによって部屋の仕掛けが変化してゆき、下の子供たちは、「お兄さん・お姉さんになったら入れるおうち」に憧れながら成長できる保育室。

## スプラッシュガーデン (噴水の光庭)

たっぷりできる子から大きな5歳児まで、皆で遊べる水遊びの庭。サイコロ型のボタンを押すと噴水が飛び出す仕掛けを設置。



【こども達の動きについて】

・やまびこホール(玄関コリドール)を中心に右手が0~2歳のゾーン、奥へ進んで右へ入ると3~5歳のゾーン、奥の突き当たりがランチルーム(もみの木)すぐ左手は子育て支援センターです。全ての動きがホール(事務室)で把握でき、3~5歳のこども達は必ず園長先生とご挨拶する必要があります。遊戯室に入ると中心に噴水の庭があり、0~2歳と3~5歳の交流をはかるスペースでもあります。

【園庭の環境】

・保育室前にはテラス、砂場、足洗い場、手洗い(お湯が出る)、外部利用可能なトイレ、オーニングにより日差しの調整を行い、園庭を日常保育に活用しやすい環境としました。  
・年齢に合わせた遊具や遊び場を適所に配置し、運動能力の異なる園児同士の事故を予防するよう配慮した。